

アルジェリア政治・経済月例報告
(2018年7月)

平成30年8月
在アルジェリア日本国大使館

1 内政

- 2日、国会（国民評議会及び国民議会）が通常会期を終え閉会。閉会に際してベンサラ国民評議会議長は、ブーテフリカ大統領が5期目に向けて立候補するよう呼びかけた。
- 6月のコカイン大量押収事件を受けて、6月下旬にハメル国家警察庁長官が更迭された後、3日、メナード・ヌーバ憲兵隊総司令官が更迭され、ガリ・ベレクシール総司令官が新たに任命された。また、ハメル長官の後継者に任命されたラハビリ警察庁長官は着任早々、警察幹部の人事異動を進めており、既にアルジェ県警本部長、オラン県警本部長が解任された他、今後、アルジェ空港警察責任者、ティバザ県警本部長らも近々任を解かれる可能性がある。
- 5日、ブーテフリカ大統領は、第56回目の独立記念日に際してアルジェの革命殉死者の墓前で黙想及び献花を行った。
- 14日、ウルド・アッベスFLN事務総長は、ブーテフリカ大統領が次期大統領選への出馬をまだ決めていないとしつつ、FLNとしては同大統領の立候補を支持すると述べた。他方、かねてより、マクリMSP（平和のための社会運動）党首は現下の国内政治状況に鑑み、同大統領の5選という選択肢ではなく、コンセンサスに基づく民主的移行を訴えて、ガイド・サラ国軍参謀総長に対して民主的移行に参加するよう呼びかけていたが、これに対し、26日、同参謀総長は、軍が政治に関与することは悪い習慣であるとしつつ、軍の任務は憲法上の枠内にある旨等述べた。マクリMSP党首は、24日にウルド・アッベスFLN事務総長、29日にウーヤヒヤRND党首（首相）とそれぞれ会談したが、ウルド・アッベス事務総長は、アルジェリアは既に定期的に選挙を行ってきており、民主的移行の時期は過ぎている旨、また、ウーヤヒヤ党首はMSPの民主的移行のイニシティブには賛成できない旨それぞれ明らかにした。30日、ウーヤヒヤRND党首は、ウルド・アッベスFLN事務総長と会談し、両者はともにブーテフリカ大統領が5選に向けて立候補するのであれば、それを支持したい旨述べた。
- 23日、ブーテフリカ大統領は憲法院の新メンバー5名の宣誓式を主宰した。

2 外交

- 1日及び2日、ウーヤヒヤ首相は第31回AU総会に大統領代理として出席

し、汚職対策に取り組む決意を表明。また、南スーダンに関するハイレベル・アドホック委員会の会合等に参加。同首相はこの機会に、ケイタ・マリ大統領、サス・ンゲソ・コンゴ共和国大統領、ムナンガグワ・ジンバブエ大統領とそれぞれ会談した。

●9日、エルドアン・トルコ大統領の就任式にウーヤヒヤ首相が大統領代理として出席し、同大統領の他、メドヴェージェフ・ロシア首相、ラフィニ・ニジェール首相等とそれぞれ会談した。

●10日、メサヘル外相は、北京で開催された中国・アラブ諸国協力フォーラム閣僚会合に参加したのにつき、11日及び12日、中国を公式訪問し、王毅外交部長と会談し、二国間関係の強化や国際情勢について意見交換した他、両国間の政治協議、観光、外交・サービス旅券所持者の査証免除に係る3つの合意に署名した。この他、同外相は、楊潔チ中国共産党中央外事工作委員会弁公室主任と会談した。13日、同相は、引き続いてベトナムを訪問し、グエン・スアン・フック首相及びファム・ビン・ミン副首相兼外相とそれぞれ会談し、両国関係の多角化、パートナーシップの発展等につき意見交換し、特に経済・貿易関係を飛躍的に発展させる必要性を強調した。

●メサヘル外相は、25日及び26日にワシントンで開催された宗教の自由に関する閣僚級会合に参加し、宗教が個人や人々の間での分断や対立の空間となってはならない旨等表明。また、この機会にボルトン国家安全保障担当大統領補佐官、セールス国務省テロ対策調整官、サタフィールド国務次官補代行等と二国間の政治・治安分野での関係強化等について意見交換した。

3 治安

●11日付け報道によると軍は本年1月から6月までにテロリスト117人を駆除し、そのうち20人を殺害、66人が投降した。投降はタマンラセット県が大半である。また、危険性の高い分子やテロ組織幹部が投降者に含まれており、彼らの投降はサヘルのテロ組織が軍の厳格な国境警備に圧迫され力を失っていることを示している。

●19日付け報道によると国立麻薬対策局は、向精神薬消費の増加は国家にとって非常に危険であり、さらに中学・高校生の1、2%が麻薬を消費している事実もあり憂慮すべき状況だと発表した。

●25日、国立交通安全対策局が本年1月から6月データを公表した。前年と比較し、件数11,507で前年6,8%減、死者1,510人で10,9%減、負傷者は16,022人で前年比9,5%減であった。

●31日付け報道によると、このところ国内の多くの地域で民衆抗議運動の頻度が高まっている。特に南部の住民は猛暑の時期に頻繁な飲料水の断水や停電、

また雇用問題（就職難）をめぐる政府の公約不履行に憤慨している。ウーヤヒヤ首相は、暴動に訴える住民を非難しつつも、社会経済問題（生活上の諸問題）のために措置を講じ、解決策を見出す旨約束した。

● 8月1日付報道によるとアルジェ県警は1月から6月のデータとして発生件数の25,842件のうち20,316件を解決し、右件数の内訳は人身危害3,930件、財産侵害2,099件。麻薬薬物9,900件（大麻198キロ、向精神薬108.148錠、コカイン217グラム、ヘロイン923グラム押収）、車両窃取96件、刃物不法所持1,780件、強姦6件、強制猥褻48件、誘拐1件、経済金融犯罪664件と公表した。

4 経済

● 3日、ジェラブ商業相は炭化水素部門以外の輸出を促進するために、新たな助成金の制度を設ける考えを表明。輸出促進特別基金（FSPE）を通じて輸送費の助成等を行う。2023年までに炭化水素部門以外の輸出を年間150億ドルにまで拡大させることを目標とする。

● 8日、アルジェリア商工会議所（CACI）とインド工業連盟（CII）とが、二国間の経済パートナーシップ強化に関するMOUに署名。両国の代表は農業、医薬品、航空分野における協力の強化に言及。また、アルジェリアの農産物のインドへの輸出が間もなく開始されることが発表された。

● 17日、ソナトラック社のカドゥール総裁はベルキヌ油田における伊Eni社とのパートナーシップ強化に関する協定に署名。両企業は石油化学、再生可能エネルギー、オフショア開発等においても協力を深化させることで合意。

● 17日、ソナトラック社が進めていた伊アウグスタの製油施設の買収に関し、欧州委員会が承認。

● 22日、関税庁が2018年上半期の貿易統計を発表。昨年同期比で輸出は12.56%増の198億2800万ドル。輸入が2.1%減の227億8400万ドル。貿易赤字は47.5%減少し29億5600万ドル。主要貿易相手国は以下のとおり（括弧内の数字は全体に占める割合）

【輸出】

- 1 伊：30億1000万ドル（15.2%）
- 2 西：24億9000万ドル（12.57%）
- 3 仏：22億4000万ドル（11.3%）
- 4 米：19億ドル（9.6%）
- 5 英：13億5000万ドル（6.83%）

【輸入】

- 1 中：33億9000万ドル（14.8%）

- 2 仏：22億6000万ドル（9.95%）
- 3 伊：18億7000万ドル（8.24%）
- 4 西：17億8000万ドル（7.81%）
- 5 独：15億9000万ドル（7%）

なお、地域別では輸出、輸入とも対 EU との取引高が最大で、輸出全体の56.8%、輸入では45.22%を占める。アジア地域との取引は輸出が全体の12%、輸入においては対 EU に次いで23%。

●26日、2018年補正予算法が施行。ジェラブ商業相は、同法に盛り込まれたセーフガードの追加関税措置は9月初めより適用されると表明。

●26日、アルジェリアとトルコの合弁企業であるタヤル・グループが、トルコ、ベルギー、ポルトガル、ポーランドに向けて合計200トンに上る繊維製品の輸出を実行。ユースフィー産業・鉱業相がルリザンヌにあるタヤル・グループの工場を視察し、輸出の多角化と炭化水素への依存からの脱却のために同事業が持つ重要性を評価。

●28日、国家統計局が2018年第1四半期の国内総生産について、前年同期比で2%成長と発表。炭化水素部門が-2%成長であった一方、とりわけ農業・漁業（+4.2%）、建築・公共事業・水道（+4.7%）、工業（+4.1%）の部門が成長を牽引。

5 日本との関係

●8日、小川大使は日本が資金協力を行うアルジェリア政府と国連開発計画（UNDP）の協力プロジェクト「若者の自立・雇用促進計画第二フェーズ」のプロジェクト・ドキュメント署名式に出席し、スピーチを行った。

●15日、小川大使はブハジャ国民議会（APN）議長を表敬。新聞各紙はこの会談の中で日アルジェリア間の経済関係の強化や議員交流等に関し意見交換が行われた旨報道。

●24日、ベドゥイ内務・地方自治・国土整備相がサイダ県のスズキ自動車組立て工場を視察。同相から失業率の高いサイダ県においてスズキの進出がもたらす雇用創出への期待が表明された。また、新聞各紙、テレビ等がこの視察について報じた。

<アルジェリア要人の外国訪問>

日付	国	氏名・肩書き	目的
6月30～7月2日	モーリタニア	ウーヤヒヤ首相	大統領代理として第31回 AU サミットに出席。メサ

			ヘル外相同行。ケイタ・マリ大統領、サス・ンゲソ・コンゴ大統領、ムナンガグワ・ジンバブエ大統領及びガリ・西サハラ「大統領」と会談
7月5日	南ア	ミフビ文化相	アフリカ文化相会議に出席
7月5～6日	ジンバブエ	メサヘル外相	ムナンガグワ大統領を表敬し、ブーテフリカ大統領からの「友好と連帯」のメッセージを伝達
7月9日	トルコ	ウーヤヒヤ首相	大統領代理としてエルドアン大統領の就任式に出席。メドベージェフ露首相、ラフィニ・ニジェール首相と会談。イトゥノ・チャド大統領、オンディンバ・ガボン大統領、ゲレ・ジブチ大統領及びハムダッラー・パレスチナ首相と短時間の会話
7月10～12日	中国	メサヘル外相	第8回中国・アラブ諸国協力フォーラムに出席。王毅外交部長等と会談
7月13日	ベトナム	メサヘル外相	ミン副首相兼外相と会談。フック首

			相を表敬
7月20～21日	エジプト	ブハジャ国民議会議長	アラブ議会連盟（UPA）の各国議長特別会合に出席
7月25～27日	米国	メサヘル外相	第1回「信仰の自由を推進するための閣僚会議」に出席。ボルトン国家安全保障担当大統領補佐官，カイダノフ政治・軍事担当国務次官補，ロイス下院外交委員長，セールズ国務省テロ対策調整官及びサタフィールド近東担当国務次官補代行等と会談

<外国要人のアルジェリア訪問>

日付	国	氏名・肩書き	目的
7月3日	スペイン	グランデ・マルラスカ内相	ベドゥイ内務・地方自治・国土整備相と会談。ウーヤヒヤ首相を表敬
7月3～4日	英国	アフマド外務省英連邦・国連担当相	ベンゲブリ国民教育相，ベドゥイ内務・地方自治・国土整備相及びメサヘル外相と会談
7月8日	ベネズエラ	モロス大統領	トランジットのためにアルジェ空港着。ブハジャ国民議会議長及びメサヘル外相が応接
7月11日	ベネズエラ	モロス大統領	トランジットのた

			めにアルジェ空港着。ブハジャ国民議会議長が応接
7月15～16日	ニジェール	バズム内務・公安・地方分権・慣習・宗教相	第6回アルジェリア・ニジェール国境委員会をベドゥイ内務・地方自治・国土整備相と共催。メサヘル外相及びアイサ宗教・ワクフ相と会談。ウーヤヒヤ首相を表敬
7月16日	EU	ド・ケルコーブ・テロ対策調整官	メサヘル外相と会談
7月19日	EU	マカリストア欧州議会外務委員長	ブハジャ国民議会議長及びベドゥイ内務・地方自治・国土整備相と会談。ウーヤヒヤ首相を表敬
7月19日	セネガル	エンディアイエ大統領補佐官	ラウイア財相を表敬
7月21～24日	ベナン	チャネ財相	ラウイア財相と会談。ウーヤヒヤ首相を表敬
7月22～24日	ブラジル	ヌネス外相	メサヘル外相と会談。ウーヤヒヤ首相を表敬

(了)